

2020年6月1日  
日本銀行北九州支店

---

## 北九州・京築地区の金融経済概況

(2020年6月1日)

---

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



## 1. 総論

北九州・京築地区の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による強い下押し圧力のもとで、弱い動きが続いており、厳しい状況にある。

最終需要の動向をみると、公共投資は、堅調に推移している。輸出は、一段と弱い動きとなっている。設備投資は、前年の反動から製造業を中心に減少している。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。住宅投資は、弱い動きとなっている。

こうした中で、生産は、一段と弱い動きとなっている。雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

### 【前回との比較】

項目	前回	今回
景気判断	新型コロナウイルス感染症の影響による強い下押し圧力のもとで、弱い動きが続いており、厳しい状況にある。	新型コロナウイルス感染症の影響による強い下押し圧力のもとで、弱い動きが続いており、厳しい状況にある。
需要項目	公共投資	堅調に推移している。
	輸出	弱い動きとなっている。
	設備投資	前年の反動から製造業を中心に減少している。
	個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。
	住宅投資	弱い動きとなっている。
生産	一段と弱い動きとなっている。	一段と弱い動きとなっている。
雇用	労働需給は、全体としては引き締まった状態が続いているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和傾向にある。	<u>労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。</u>

## 2. 需要項目別動向

公共投資は、堅調に推移している。

輸出は、一段と弱い動きとなっている。

設備投資は、前年の反動から製造業を中心に減少している。

3月短観における2020年度の設備投資は、前年を下回る計画となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。

大型小売店（百貨店・スーパー・複合商業施設）売上高や量販店（ディスカウントストア・ホームセンター等）売上高をみると、4月は外出自粛の動きの広がりや、臨時休業や営業時間の短縮等により、全体としてみれば大幅に減少した。足もとでは、営業再開等により徐々に客足は戻りつつあるものの、外出自粛の動きが続く中で、全体としてみれば前年を大きく下回っている。

乗用車新車登録台数（4月）は、前年を下回った。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

### 3. 生産

生産は、一段と弱い動きとなっている。

#### ▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	減少している。
	電炉	弱い動きとなっている。
化学		高水準で推移している。
セメント		幾分弱含んでいる。
住設機器		弱含んでいる。
電気機械		横ばい圏内で推移している。
電子部品		幾分弱含んでいる。
自動車		減少している。

### 4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

### 5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、0%台半ばとなっている。

### 6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

### 7. 金融情勢

実質預金残高は、前年を上回って推移している。貸出金残高は、前年を上回って推移している。

この間、貸出約定平均金利（都銀・地銀・地銀Ⅱ平均、総合<ストック・ベース>）は、低下傾向が続いている。

以 上